



▲これまでに田原市へは4個のやしの実が流れ着いています

6/8 [水] 願いは黒潮に乗って 届け!恋路ヶ浜へ

愛のココナッツ・メッセージ「やしの実投流」が沖縄県石垣島沖で行われました。「名も知らぬ遠き島」を石垣島に見立て、昭和63年から始まったこの取り組み。参加した30名は、船上から91個のやしの実を「恋路ヶ浜へ届け」と願いを込めて海に投げ入れました。

6/11 [土] 地域が一体 交流の輪広がる

交流スポーツ大会が渥美運動公園屋内競技場で開催され、市内20のコミュニティ協議会から約450名が参加しました。地域の交流と連帯意識の向上を目的に行われたこの大会。参加者は男女混合で編成されたチームに分かれ、玉入れなどの競技を通して楽しみながら地域の団結力を高めました。



▲ディスクを投げる参加者の皆さん(主催:田原市地域コミュニティ連合会)
【玉入れ】優勝:若戸、準優勝:泉、3位:六連、衣笠
【フライングディスクゴルフ】優勝:衣笠、準優勝:若戸、3位:六連、亀山

～渥美半島を元気に!～

山下市長の 元気通信



海と夏休み

海の恩恵に感謝し…ということから祝日となった海の日(今年は7月18日)。

海といえば、子どもたちの夏休みになると歩いて蔵王山を越え、片浜や白谷の海岸に泳ぎによく出かけました。当時の海水浴場は、海辺の涼を求め、多くの人々で大にぎわい。わんぱくな子どもたちは、我先にと飛び込み台に向かい、ヘトヘトになるまで飛び込みや宙返りをしていたものです。夏休みの思い出の場面として、海は欠かせないものである方

も多いのではないのでしょうか。

時代は変わり、市内の海水浴場は3カ所になりましたが、今も昔も変わらないのは海がきれいなこと。今年の水質検査でも、県内屈指の良好な水質との結果がでています。

皆さんもこの夏の思い出づくりに、ご家族や友人とともに、市内の海水浴場に出かけてみてはいかがでしょうか。

